

# 輝き

三木市立三木特別支援学校  
学校通信 No. 9  
令和2年10月1日

## 学校教育目標

- ・校訓 自立 元気 ともに伸びる
- ・教育目標 一人一人が「輝き」、「主体的」に活動する児童生徒の育成

## 実りの秋、本番です

校長 小林 義直

徐々に秋らしい季節になりました。実りの秋となりますよう学校教育活動を進めて参ります。10月は、居住地校交流や小学部地域校交流、修学旅行(小6)、三市特交流(小)、わくわくオーケストラ教室(中1)、教育参観日、三市特PTA交流研修会(性教育研修会)など行事が盛りだくさんです。祝日のない月ですので、健康面に配慮して毎日毎日を大切に学習していきたいと思えます。また、ミニフェスティバルを終えて、11月のミニ学習発表会に向けて準備を進めていきます。ミニ学習発表会も教育参観日の参観授業として実施する予定です。各行事で、子どもたちの活躍を楽しみに待っていて下さい。子どもたちの力が最大限に発揮できますように職員も工夫を凝らして頑張りますので、よろしく願いいたします。



## ミニフェスティバルを実施しました

9月11日(金)教育参観日にミニフェスティバルを実施しました。本年度は、体育館で授業参観という形で3校時小学部、4校時中学部で実施しました。保護者参観の中、子どもたちはたいへんハッスルして演技をしていました。参観された方の感想には、子どもたちの成長が感じられる良い機会だったと書かれており、子どもたちの運動する姿を発表することの意義を改めて感じる事ができました。感想の一部を載せています。(割愛した部分もあります。ご了承ください。)

○小学部、中学部と別々のフェスティバルで残念でしたが、ゆっくりと子どもの活動がみられました。みんな頑張っていたのでとてもよかったです。

○今年は学校行事などが難しい中、こういう機会を頂きありがとうございます。子どもが生き生きと活動している姿を見ることができ、ありがとうございます。

○コロナの状況の中、楽しく活動する姿を見ることができました。ありがとうございます。1年1年成長する姿が嬉しいです。

○家では見られない顔を見ることができました。特に、思った以上に体を動かすのが上手くなっていて驚きました。

○今年は例年とちがう形のミニフェスティバルでしたが、毎日学校でやっている事を披露してくれているんだとよく伝わってきました。子供達の私語もなく、しずかに動いていたのがすごく印象的でした。